

大門だより

No. 11
(449号)

荒川区立大門小学校
校長 野澤 一代
令和4年 3月 7日

大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子

「オンライン授業から学年末へ」

校長 野澤 一代

3月の花。菜の花、たんぽぽ、チューリップ、桃、水仙、カタクリ。黄色い花が見られる季節はもうすぐですね。先月記述した学校の梅の花も花芽が大きくなり、あと少しで咲きそうです。

2月はご家庭でのオンライン授業に御協力いただきありがとうございました。おかげさまで、学校での感染拡大は防げ、学級閉鎖や学校閉鎖には至らずに3月を迎えることができました。

オンライン授業の様子は日々の教室を回っての児童観察と同じように毎日各クラスに入って見ていました。初めはハウリングしたり、Meetの部屋を2つ開けてしまったり等いろいろな不具合を繰り返しながらも、マイクをオンにして発言したり、学校でできなかったピアノやリコーダーで合奏したり、ビデオを見ながら体操したり等後半は様々ないつもの教室で学習するようになっていきました。担任の先生方の日々の教材研究と家庭のご支援には頭が下がります。

私は、例年2年生に行う「九九のまとめ～ラスボスに挑戦」を担当に協力してもらい、この期間にMeetで実施しました。時間になると「ぼん」という音とともに緊張した2年生がMeetの部屋に入ってきて、一生懸命九九を唱えてくれました。普段声を聞かない児童が大きな声で九九を唱えてくれ、オンラインも悪いことばかりじゃないなと感じました。

もちろん、学校は学校に来てこそその学校です。それは不変です。一部の児童しか会えなかった1ヶ月は心もやもやしていました。しかし、いろいろな方法を世の中の動きに合わせてやってみて、折り合いをつけて進化させてやりやすくしていくことも大切です。タブレットの活用慣れていく児童を見て実感しました。新型コロナウイルスが存在する世の中と共存して生き抜いていくことが求められている今、後ろを振り返らずに前を見て、未来を見て、今後の教育について日々考えていきたいと思えます。

さあ、3月になりました。ここからは怒涛の学年末です。学校でしかできないことがまだ残っています。児童とじっくり取り組んで、まとめをしたいと思えます。まだまだ新型コロナウイルス感染者は高止まりです。ご家庭でも感染対策を万全に。学校も新たにCO₂検査機をあちこちに配備し、空気の様子も注意深く見て、今まで以上の感染対策を行います。一緒にがんばりましょう。

